

2022年度 夏号

Communication

通信



◆ 発行日 2022年7月 ◆ 発行

〒213-0022 川崎市高津区千年435-10

TEL 044-833-7562

FAX 044-833-7534

認定 NPO 法人 フリースペースたまりば

<https://www.tamariba.org>

E-mail : freespace@tamariba.org

自分たちの居場所 = 自分ごと

5月18日にたまりば理事会、6月4日にたまりば総会が開催されました。今年の7月から、会計顧問の町田恵美さん、また、ブリュッケのセンター長となった三瓶三絵さんが、理事として就任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします！そして6月25日、たまりばの活動報告会を行いました。コロナ禍によって書面開催となっていたのですが、今年は夢パークの2階に新しくできたホールを会場に、えん会員の子どもたちや若者たち、OB・OGのみんな、保護者の方々などが集まって、3年ぶりにリアル開催することができました。フリースペースえんでおこなわれている講座やイベントの様子を、写真や動画で鑑賞したあと、川崎若者就労・生活自立支援センター「ブリュッケ」や、コミュニティスペース「えんくる」の活動の様子を、スライドで鑑賞しました。そして、たまりばにはどのくらいのお金があって、どのくらいのお金を使っているのか、といった会計の話もみんなで聞きました。後半は、『たまりばでやってみたいこと、行ってみたいと

こ、みんなで自由に話してみよう！』というテーマで、数人のグループに分かれてのおしゃべり会。実際に実現できるかどうかとか、コロナ



のことやお金のことは一旦置いておいて、みんなの夢を大いに語り合ったら、「夢パークの屋上から滑れるウォータースライダーやりたい！」「こどもゆめ横丁を2日間にして、もっとお金を稼ぎたい！」「サッカーゴールがほしい！」「マグロ丸ター尾買ってさばいて鮭パーティー」「フォルクローレ演奏旅行」などなど・・・「それめっちゃいいね！面白い！やってみたい！」と感ずる話がたくさん出て、大盛り上がりでした。自分たちの居場所のことを「自分ごと」として、そこに参わるみんなで、これまでのこと、これからのことを一緒に考えていく、素敵なお場となりました。

報告会の最後には、7月の下旬に予定している夏合宿の話をしました。八丈島は、まだコロナ禍で大勢で行くのは難しい。じゃあ代わりにどこか行けそうなキャンプ場は？と探して見つけた、たまりばのルーツ「多摩川」の上流付近にある、山梨県小菅村のキャンプ場に、スタッフで実際に行った様子の写真をみんなで見ました。川遊びはもちろんのこと、魚の掴み取りもできるよ！といった話を聞き、メンバーからは「楽しそう！」「はやく行きたい！」「スタッフだけで先に行つてくれる！」などといった声。2022年度もみんなで楽しい思い出をたくさん作っていききたいです。(もぐ)



認定 NPO 法人
フリースペース
たまりば
って…？

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

ぷりぷりのアジ、うまいぞ〜!!



熱海の宇田水産社長の宇田勝さんが、新鮮なアジをもってえんに来てくれました！早速子どもたちにアジのさばき方を伝授！次々に挑戦する子どもたち。魚をさばいたことのある子や初めて魚をさばく子もいて説明を受けながら試行錯誤をして頑張っていました！最初は思うように行かない子も宇田さんのお手本や他の子のさばき方を見ながらぐんぐん成長！あっという間にその日のえんめし分をさばき終え、フライにさせていただくことに。肉厚で脂の乗ったぷりぷりなアジにみんな大満足！アラはスープに入れて出汁をとり、中骨も揚げて骨せんべいに！美味しいアジを余すことなく堪能しました。「えんのみんなに美味しいアジを食べてほしい！」というお気持ちで、わざわざ熱海から新幹線に乗って来ていただいた宇田水産の方々には感謝しかありません！本当にありがとうございました！（のすけ）

よつば、小学生もスタート

川崎市学習支援・居場所づくり事業（「よつばの会」）を始めてから早や9年、えん以外の居場所の一つとして、多くの子ども・若者たちが過ごしてきました。今まで、希望した人は全員高校に進学し、進学後も気兼ねなく通える居場所として続けてきました。学校が全て休校になり、開け続けるのがピンチだったコロナ禍一度目の緊急事態宣言下。居場所の必要性を市に訴えながらなんとか開き続けました。

これまで、中高生を対象としてきましたが、今年度からは小学校3年生以上も対象になりました！周知がうまくいかず、小学生の時間（16:30～17:30）に過ごしていく子はまだまだ少ないのですが、毎回、いつか流行った「うんこドリル」やオリジナル教材を使って、きゃっきや言いながら学習してみたり、夢パークの外エリアで思いっきり体を動かしてみたり、とみんな思い思いに過ごしています。（しもん）

えんくる YouTube に出る

コミュニティスペースえんくるに、えんくるカフェ、えんくる食堂、こども☆□きさがオープンして1年が経ちました。フードパントリーからスタートしたえんくるは、もっとみんなが集まりやすくなり、「まちのひろば」として連日大賑わいです。そんなえんくるの1周年を、川崎市市民文化局が開設・運営する「川崎市コミュニティチャンネル」が取材をしてくれました！取材に来てくれた職員の皆さまのYouTuber力も大幅アップしており、とても素敵に紹介してくれました。前後編で、前編はえんくる紹介、後編は担当あきのインタビューとなっています。どうぞみなさん、えんくる

最新情報を
YouTube でご覧ください。
（あき）



『ゆめパのじかん』いよいよ封切り!

ドキュメンタリー映画『ゆめパのじかん』が完成しました。全国の劇場での公開日がどんどん決まってきました。ぜひ、劇場へ足を運んでください。（以下の情報は6月20日現在）

東京	ポレポレ東中野	7月9日(土)
神奈川	川崎市 アートセンター	7月30日(土)
神奈川	横浜シネマ ジャック&ベティ	8月13日(土)
神奈川	あつぎの えいがかん kiki	8月27日(土) ～9月9日(金)

<近県以外>長野 上田映劇、愛知 名古屋シネマテーク、大阪 第七藝術劇場、京都 京都シネマ、富山 ほとり座、島根 小野沢シネマ、佐賀 シアターシエマ、熊本 Denki kan、鹿児島 ガーデنزシネマ、沖縄 桜坂劇場*詳しくは『ゆめパのじかん』公式HPをご確認ください。（ダイスケ）

指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケだより

～「好き」をつらぬいた先には～



ブリュッケの三瓶(みかめ)です。農業という新たな一步を踏み出した前センター長・佐藤有樹さんに代わって、4月からセンター長になりました。どうぞよろしくお願ひします。自然が好き、畑が好きで佐藤さんがまさかの農家を指すという展開には本当に驚きましたが、「好き」が生き方を変えるんだ！というドラマをブリュッケ一同、ワクワクしながら見守っています。(佐藤さんはたまりば辞めていませんので皆様ご安心を！)

そんなブリュッケは、まさに「好き」を追及していく居場所。5月23日、「麻雀交流会」を開催しました。ひきこもり地域支援センターの若者4名とブリュッケの若者たちとで麻雀を通じた交流を楽しみました。この会を実現してくれたのは、子どもの頃から麻雀大好きな若者。当日は、初心者向けのレクチャーから始まり、交流会のすべてを取り仕切ってくれました。「好きなことがある」、それはかけがえのない才能なのだと感じます。「好き」をつらぬいた先にある景色を、これからもみんなで見ていきたいなと思います。(三瓶)



HAPPY えんブリュッケ

★6月の平センと科学講座のテーマは【水と空気】。様々な実験を行いました。水をはった水槽に逆さにしたコップをまっすぐ入れるとコップの中には水が入らず、みんな「なんで-??」と。後半はえんを飛び出し、全天候広場の2階へ。5mの高さからストローでジュースを飲めるか挑戦。頭も身体も使って楽しい時間だったね！（いけちゃん）

★えんめしも食べ終わってのんびり過ごす屋下がり、どこからともなく楽器の音が。聞き慣れたメロディにつられて、ひとり、またひとりと楽器を持った人が集まり、気付けば演奏していない人たちもリズムに乗っているフォルクローレタイムになっています。コロナ禍になる前ってこんな感じだったなあ。新曲「双子の星」、練習するぞ～！（はるひ）

★数人の子が、さつまいもの苗植えにやってきました。「前も思ったけど不思議」と、ツルの一端のようなものが苗になることに心動かすつばやきの隣で、初めて作業に臨む子も苗を南に向けて丁寧に並べては土をかぶせていきます。窓越しに手渡した間引き後のラディッシュやにんじんは、この日のえんめしで美味しく頂きました。(けい)

西んのつばやき



いよいよ映画『ゆめパのじかん』が公開になる。大阪在住のシゲちゃんこと重江良樹監督が3年かけて撮った作品だ。前作『さとにきたらええやん』とはだいぶ趣きが異なる。日雇い労働者のまち・大阪市西成区釜ヶ崎で40年近く子どもの居場所をつくり続けてきた『こどもの里』を舞台に、ときに悩み、ぶつかり、立ち止まりながらも、いきいきと力強く成長していく子どもたちや、生きづらさを抱えとまどい、揺らく親たちの姿、そしてスタッフの葛藤をドラマチックな展開で描いた前作。SHINGO★西成のアップテンポな歌と音楽によって、ハラハラ・ドキドキの連続だった。あの映画の続編をイメージし、カオスな「えん」の子どもたちの日常を描いたのかと期待して観ると、いい意味で見事に裏切られる。

児玉奈央の優しい歌声が流れるなか、しずかーに、淡々と夢パで過ごす子どもの日常が描き出される。アリンこの巣をじっと観察する子どもだったり、黙々と木工に打ち込む姿だったり。ただただ、静かに流れる「こどものじかん」を描いている。子どもが「やりたい」ことよりも、おとなが子どもに「やらせたい」ことであふれているいまの社会。自分の時間を使って、こんな風に過ごしたいと思っても、やらねばならないことに追われる子どもたちの日々。生きたいように生きさせてよ。そう思いながらも、そう簡単には、うまくいかない。このままの自分でいいのか、揺れる時間。何が正解なのか。どう生きたいのか。

そんな中でこの作品は、夢パでやってみたいことに、ただただ熱中する子どもの様子、いきいきと遊ぶ子どもたちの姿をしっかりとらえている。屋根から飛び降りる子、木登りする子、水や泥で遊ぶ子。廃材を使ってお店を建設し、現金で商売する「こどもゆめ横丁」を楽しむ子どもたち。その一方で、ふと立ち止まり、迷い、揺れ、悩む子どもたちの姿も、重江監督はあつたかい目線で、子どもに寄り添いながら描き出している。未来ではなく、いまを生きる子どもたち。

オルタナティブな学びの場として、こんなにすごい実践をしています、みたいな色合いもほとんど感じられない。「どうよ、夢パってすごいでしょ」みたいなキミもない。

自由な発想で、挑戦と失敗を積み重ねながら、子どもたちが自ら育つ大切な「じかん」に光をあてた素晴らしい映画ができあがった。一人でも多くの人に観てもらいたい。そして、語り合いたい。

(西野博之)



川崎若者就労・生活自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら・・・。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～39歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

新型コロナウイルス対策による、イベント・企画の実施等の変更については、開催日が近づきましたら ホームページでご確認をお願いします。 <https://www.tamariba.org>

夢パまつり 2022～水あそびスペシャル～

7月18日(月・祝)11:00～16:00(18:00 閉所)

☆7月の海の日が夢パまつり！今年は久しぶりにでっかくまつりができるかな？「レインボーマーケット」(おかし・飲み物などの模擬店)も予定しています。「やってみたい・あそびたい」がいっぱい！着替えやぼうしも忘れずにね。

※19日(火)施設点検日のため夢パークは閉まっています。

※20日(水)「えん」は夢パまつりの代休です。

奥多摩キャンプ

7月25日(月)～27日(水)・2泊3日

山梨県・玉川キャンプ村 ※申込み締切 7月11日(月)

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第3回 8月20日(土) 10:00～12:00

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方

会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

参加費 500円 <要予約・先着15人まで>

申込み 第3回 7月1日 12:30から受付開始

※第4回以降の日程はホームページでご確認ください。

ご支援いただきありがとうございます

(2022.3.16～2022.6.9)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。
(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。)

なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。

海老澤和子、中村公一・勇、矢崎達則、宮崎芳正、齋藤こえ子、山本哲也・将也、内田成信、内田安信、青木和雄、山田恵理子、おーまきちまき、石川富士子、平野知恵、遠山宗子、竹内昭太郎、清水善幸、鈴木みしお、藤川英之・昂大、森口慶亮、木村遥花、ハーフォードアレキサンダー、新妻賢一・葵、小寺顕一、東靖士、芝山賢、渡邊敬・未希、橋本誠一・碧、飯沼光津子、木崎志保、浅井輝也、コンペイトウ、長谷川和子、内川朗子、生駒知里、木内英紀、原恭子、真田朗、エトウトモミ、須田久美子、布施賢造、村上麻登香、橋本峻、山田康輔、松木雅幸、山中緑、田老幸子、安西卷子、門田啓子、赤野一将・香織、磯上しのぶ、藤本オサム、朝香宏宣、小原輝子、森田奏恵、藤井景子、野田岳志、山口正芳、イロオイアヤカ、岡田孝子、友兼清治・悦子、安田靖子、土橋優平、新井野誠、田中英和、奥田礼子、西村幹子、山下泰司、柴田靖子、山下晴子、北村年子、佐藤忠、新井琴乃、宮岡えり、野口由美子、畑本菜穂美、熊谷和夫、重松奈緒、藤田妙子、佐々木秀夫、有北いくこ、吉田裕子、入海英里子、椎野修平、高橋元央、中川裕子、天野溪、池原景太、千葉志門、細田和恵、愛甲香織、友兼大輔、榎戸貴子、大和証券株式会社川崎支店、国際ソープチミスト川崎-百合

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562



コミュニティスペースえんくる

えんくるは、フードパントリーを併設した「まちの広場」です。

子どもはもちろん、誰もが立ち寄れる居場所を目指しています。

〒214-0021 川崎市多摩区宿河原 6-26-24 フジビル1階 TEL: 044-813-5248

公式 LINE

